

〈研究・教育業績紹介〉(2023年1月～12月)

岩 村 健二郎

学会発表・口頭発表

「キューバにおける奴隷の臨床医療—バレーラ『考察』(1798)における『黒人』の構築—」日本ラテンアメリカ学会 第44回定期大会2023年6月3日 於明治大学

研究助成

- 1) 2023年度特定課題研究助成費 特定課題(研究基礎形成)「『女兒ルイサ失踪事件』(1908年キューバ)における『人種』言説の編成」(課題番号: 2023R-004) (30万円)
- 2) 2023年度特定課題研究助成費 科研費連動型(評価連動タイプ)「奴隷の『医療』と『黒人』の構成—18世紀～19世紀」(課題番号: 2023C-312) (50万円)

谷 昌 親

論 文

「『見者』としての画家がたどる旅路——マックス・エルンストと北アメリカ先住民族の文化」、『人文論集』(早稲田大学法学会)、第61号、2023年2月、pp. 15-40.

著 書

『フィルムメーカーズ24ホン・サンス』、オムロ、2023年6月。〔分担執筆: 「残響としての映画——ホン・サンスへの漸近線」、pp. 28-32〕

編著書

『いま、映画をつくるということ——日本映画の担い手たちとの21の対話』、フィルムアート社、2023年3月。〔分担編集・分担執筆〕

評 論

「八〇年代パリの夜を通り過ぎる者たち —ミカエル・エルス監督『午前4時にパリの夜は明ける』」、『図書新聞』、第3589号、2023年4月29日、p. 8。

「REVIEW 日本映画」、『キネマ旬報』、No. 1926、1928、1930、1932、1934、2023年8月号～12月号。

口頭発表

「他者との共生を可能にする〈環境〉をめざして」、法学部主催講演会「他者との共生の可能性を探る——映画『マイスマールランド』をとおして考える移民・難民問題」、早稲田大学法学部、2023年11月30日。

中 村 隆 之

論文（評論を含む）

- 1) 「無限、糞便、別の身体：アントナン・アルトーの異言」鈴木創士編『アルトー横断』月曜社、2023年2月、121-135頁。
- 2) 「ネグリチュード運動の形成」『岩波講座 世界歴史 21：二つの大戦と帝国主義Ⅱ 20世紀前半』2023年2月、岩波書店、263-280頁。
- 3) 『『ニグロ・ワーカー』あるいは「ブラック・ラディカルの伝統」の一起点：国際共産主義運動とパン・アフリカニズムを越境する想像力のために』『思想』1187号（2023年3月号）、2023年2月、岩波書店、35-52頁。
- 4) 「カリブ海・環大西洋ブラック・アート論序説」『美術手帖』75巻1097号

- (2023年4月号)、2023年3月、美術出版社、72-76頁。
- 5) 「テクノサイエンス経済時代の人間の条件をめぐる試論：ルジャンドルの仕事から学び直す」『思想』1190号(2023年6月号)、2023年5月、岩波書店、129-143頁。
 - 6) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて：環大西洋音楽文化論：第1回 アフリカの口頭伝承、その叡智と音文化」『世界』972号(2023年8月号)、2023年7月、岩波書店、251-259頁。
 - 7) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて：環大西洋音楽文化論：第2回 語られてこなかった過去を想像する」『世界』973号(2023年9月号)、2023年8月、岩波書店、238-245頁。
 - 8) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて：環大西洋音楽文化論：第3回 アメリカスに渡ったアフリカの声と音」『世界』974号(2023年10月号)、2023年9月、岩波書店、260-267頁。
 - 9) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて：環大西洋音楽文化論：第4回 自由を希求する共同体の歌」『世界』975号(2023年11月号)、2023年10月、岩波書店、256-263頁。
 - 10) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて：環大西洋音楽文化論：第5回 変わりゆく同じもの」『世界』976号(2023年12月号)、2023年11月、岩波書店、254-261頁。
 - 11) 「祖国喪失と抵抗」『思想』1196号(2023年12月号)、2023年11月、岩波書店、137-153頁。
 - 12) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて：環大西洋音楽文化論：第6回 未来に向けて再構築されるルーツ」『世界』977号(2024年1月号)、2023年12月、岩波書店、276-283頁。

その他(翻訳、書評、エッセイ等)

- 1) 「レイシズムをめぐる終わりなき戦い：L. ハンケ『アリストテレスとア

- メリカ・インディアン』『世界』965号(2023年1月号)、2022年12月、岩波書店、265-270頁。
- 2) 「書評 ウィリアム・フォークナー著、マルカム・カウリー編『ポータブル・フォークナー』: 名匠たちによる至上の訳業: ポスト・プランテーション社会の土台をなす年代記として読む』『読書人』3473号、2023年01月20日、5面。
- 3) 「未来に向かう運動: 特集「雑誌・出版・運動」にあたって」『思想』1187号(2023年3月号)、2023年2月、7-9頁。
- 4) 佐久間寛、中村隆之、水溜真由美「鼎談「回路」としての雑誌運動: 見つける、繋ぐ、変える」『思想』1187号(2023年3月号)、2023年2月、10-34頁。
- 5) 「奴隷制と植民地主義」『美術手帖』75巻1097号(2023年4月号)、美術出版社、112-113頁。
- 6) 「鼎談 中村隆之×浜邦彦×中尾沙希子『環大西洋政治詩学』: いまファノンをどう読み直すか』『図書新聞』3589号、2023年4月29日、1-2面。
- 7) 「本棚の片隅に12 野生の本を求めて」『コメント通信』33号、2023年4月号、水声社、19-20頁。
- 8) 「書評 スヴェン・リンドクヴィスト『すべての野蛮人を根絶やしにせよ』: ジェノサイドの命法のなかに「ヨーロッパ思想の核」を見る」『図書新聞』3591号、2023年5月20日、8面。
- 9) 「インタビュー #262 環大西洋文化研究 中村隆之」(聞き手: 仲野麻紀)『Jazz Tokyo』302号、<https://jazztokyo.org/interviews/post-89126/>、2023年6月3日公開。
- 10) 「新・時事用語 文化の盗用」『イミダス』、https://imidass.jp/newjijiword/?article_id=l-91-069-23-09-g935、2023年9月15日公開。

口頭発表

- 1) 「トークイベント〈鳥々の詩学と哲学：メラネシアとカリブ海から〉里見龍樹×中村隆之」ジュンク堂書店池袋本店、2023年1月30日。
- 2) 「先端科学技術と現代思想：授業実践を通じて考える」先端科学技術の法・倫理研究所主催「メタバースと法」研究会第2回例会、8号館417教室、2023年2月27日。
- 3) 「資本主義と〈ブラック〉の行方：『レイシャル・キャピタリズムを再考する』『環大西洋政治詩学』刊行記念合同書評会」神戸大学 PROMIS、神戸大学国際文化学研究所鶴甲第1キャンパス学術交流ルーム E410、2023年3月26日。
- 4) 司会担当「討議1 雑誌と越境的想像力」「雑誌で読み解く20世紀：共同討議『思想』3月号」明治大学和泉キャンパス／Zoom、2023年4月15日。
- 5) 「失われた声の痕跡を求めて：黒人作家・ミュージシャンと奴隷貿易・奴隷制の過去の継承 (En quête des traces des voix disparues : les écrivains et musiciens noirs et la transmission du passé de la traite et de l'esclavage)」研究集会「ブラック・アトランティックのいくつもの歴史叙述 (Historiographies noirs-atlantiques)」パリ・シテ大学オランプ・ド・ゲージュ棟209教室、2023年12月7日。フランス語による発表とセッション内での議論。
- 6) 「ブラック・ミュージックの魂を求めて 中村隆之さん配信」岩波書店『世界』編集部、Xスペース配信、2023年12月14日。

研究助成

- 1) 科学研究費補助金「両大戦間期パリにおける環大西洋文学の形成をめぐる語圏・地域横断的研究」基盤研究(C)(課題番号：19K00482)(2019年度~2022年度)
- 2) 科学研究費補助金「仏語圏アフリカ系作家に見るトビラ法以後の奴隷

貿易・奴隷制の記憶の継承とナラティブ」基盤研究(C)(課題番号: 23K00432)(2023年度~2026年度)

星 井 牧 子

口頭発表

- 1) Zur Rolle von Disfluencies in der lernersprachlichen Produktion japanischer Deutschlernender. GAL-Jahrestagung (ドイツ応用言語学会年次大会). マインツ大学(ドイツ), 2023年9月21日. (Nicole Schumacherとの共同発表)
- 2) ドイツ語学習者の発話における「非流暢性」を考える. 日本独文学会秋季研究発表会. 京都府立大学, 2023年10月15日.

研究助成

- 1) 科学研究費補助金「ドイツ語学習者の発話の非流暢性を発話の協働構築の観点から再検討する」基盤研究(C)(課題番号: 18K00889)(2018年度~2023年度)(研究代表者)
- 2) 科学研究費補助金「ドイツ語学習者の文法習得とインタラクション能力を発話の非流暢性から考察する」基盤研究(C)(課題番号: 22K00691)(2022年度~2024年度)(研究代表者)
- 3) 2023年度特定課題研究助成費(研究基盤形成)「日独間テレビ会議における異言語間コミュニケーションとインタラクション能力の養成」(課題番号: 2023C-605)

守 中 高 明

共 著

1. 『親鸞万華鏡』(阿満利磨、伊藤比呂美、大澤真幸、姜尚中、高橋源一郎、西谷修、森達也、四方田犬彦らとの共著)、「現代の思想として親鸞を読み解く」pp.227-237、東本願寺出版、2023年12月10日刊。

エッセイ

1. 「追悼・天澤退二郎——来たるべき詩的闘争の場面へ赴け」、『図書新聞』第3582号(2023年3月11日刊)、1面、武久出版。
2. 「『譚』という形式、「クリプト」の謎」、『現代詩手帖』2023年4月号(第66巻第4号)、特集「天澤退二郎の彼方へ」、pp.81-82、思潮社。

出 演

1. 『ドゥルーズで読み解く浄土仏教——親鸞と生成変化』、Youtubeチャンネル「未来に残したい授業」、企画・MC：代麻理子、2023年2月11日。
2. 『『贈与論』から読み解く浄土仏教——元祖アナキスト一遍』、Youtubeチャンネル「未来に残したい授業」、企画・MC：代麻理子、2023年3月11日。
3. 『『赦し』とはなにか——法然・親鸞から考える死刑廃止論』、Youtubeチャンネル「未来に残したい授業」、企画・MC：代麻理子、2023年9月5日。

研究助成

1. 特定課題研究「シレジウスにおける否定神学とその彼方——現代哲学からのアプローチ」、課題番号：2023C-310、2023年6月~2024年3月。

